

地域行政学科回答（2018年度実施）

地域行政学科の皆さん、「学生による授業評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。「自由記述」欄には、多くのご意見・ご要望が寄せられました。そのすべてに回答することはできませんが、地域行政学科の講義に関係するいくつかの点について回答したいと思います。

①地域行政学科の必修科目が2年次に集中しているため、一部を1年次か3年次に分散させてほしい。

確かに、2年次には、「刑法総論」「行政法Ⅰ」「行政学」「基礎経済学Ⅰ」「基礎経済学Ⅱ」「基礎演習Ⅱ」が必修科目となっており、大変なのはよく理解できます。

しかし、1年次から専門科目を勉強するにはまだ十分な知識が足りておらず、専門必修科目である「民法総則」「憲法Ⅰ」を通して法律の基本を勉強するとともに、教養科目を通して幅広い知識を習得してもらう必要があります。また3年次には、「専門演習Ⅰ」が始まり、より自分に合った専門の勉強を集中的にしてもらいたいと考えています。

このように、1年次には教養科目を含めてより「広く」、3年次にはより「深く」勉強してもらうことを考えると、2年次に法律や行政を学ぶ上で土台となる、上記の専門必修科目を多く配置することになるのはやむを得ないものといえます。

②ていねいに教えてもらえればいい。ペースが速すぎてついていけない。

地域行政学科の教員として、学生からの講義についての要望は真摯に受け止めなければならぬと考えています。

ただ、大学の講義は、一方的に教わるものではなく、各自で予習・復習をしたり、紹介された参考文献を学習したりするなど、学生の皆さんにも、より理解を深めるための努力をしてもらう必要があります。その上で、どうしてもついていけない、わからないという場合には、学生の皆さんから個別にそれぞれの教員へ相談してもらえればと思います。

地域行政学科の教員として、学生の皆さんにとってよりわかりやすい講義ができるよう、努力をしていきたいと考えています。